



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 163

平成31年(2019)
4月28日

- 平成31年度当初予算を可決
- 副市長の選任について同意

主な内容

平成31年度予算の概要	2
第7次舞鶴市総合計画に係る審査等	4
各会派討論の内容	5
総合計画の採決結果	6
代表質問	7
一般質問	9
各会派討論の内容	15
政務活動費支出の概要	16
常任委員会の審査報告	17
議案の採決結果	18
予算決算委員会の審査報告	20
6月定例会予定	20
特別委員会の活動報告	20

議会だよりはこのコードからご覧いただけます。



防災を学び、命を守る

(京都舞鶴防災フェスタ2019より)

平成 31 年 3 月定例会

平成 31 年度予算

637億 5026万円

概要

3月定例会は、2月20日から3月27日までの36日間開催されました。市長提案の議案は、31年度予算9件、30年度補正予算4件、条例22件、契約1件、人事2件、その他2件、合計40件が上程されました。各常任委員会で審議を行い、本会議で採決を行った結果、全て原案のとおり可決・同意しました。

提案された施策の一部

① 心豊かに暮らせるまちづくり

「子育て環境日本一」を目指し、出産後間もない時期の産婦健康診査の実施や子育て支援医療助成の充実を初めとする子育て家庭に対する経済的支援の充実・強化など「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制」、公立認定こども園「舞鶴こども園」の開設や民間認可保育園の幼保連携型認定こども園への移行支援、幼児教育無償化の推進など「0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制」の充実強化の取り組みなど



② 安心のまちづくり

「防災・減災事業による安心のまちづくり」の推進に向けた、西市街地の浸水対策の推進や東地区浸水対策基本計画の策定、大手ポンプ場の整備推進などの「まちなかの浸水対策」、志高排水路整備などの「由良川防災対策」、原子力災害対策施設緊急整備による「要配慮者等の安全確保」など「治水対策、防災対策、原子力防災」の取り組みのほか、「社会全体で市民の健康づくりを支援する環境整備」や京都府立医科大学との共同研究事業等「地域医療の充実」のための取り組みなど



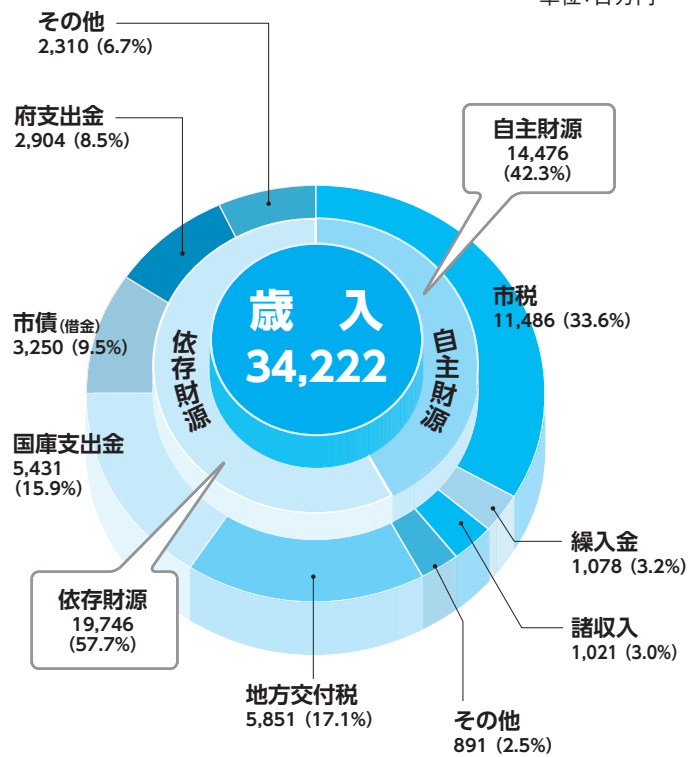
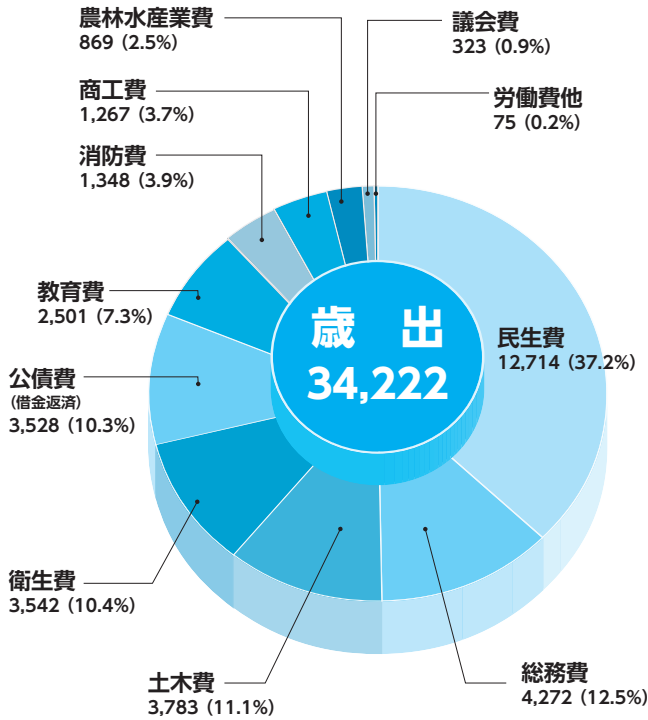
③ 活力あるまちづくり

「赤れんがパーク」を中心に、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りつつ周辺一帯を一大交流拠点とする「赤れんが周辺等まちづくり事業」への着手や同事業と連動した重要文化財赤れんが倉庫群の保存・活用を図るなどの「魅力をひきだす観光まちづくりの推進」、2020年NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした観光誘客を図るための「大河ドラマ活用まちなか回遊事業」や「細川幽斎公ゆかりの田辺城趾周辺整備」の取り組みなど



一般会計予算

単位：百万円



まちづくりに係る主な事業

●心豊かに暮らせるまちづくり

(新規) 公立認定こども園「舞鶴こども園」の開設	1億1879万円
(新規) 民間認可保育園の 幼保連携型認定こども園への移行	5億5908万円
(拡大) 乳幼児教育充実・強化推進事業	608万円
(新規) 産婦健康診査の実施	657万円
(拡大) 子育て支援医療助成の充実	2億3455万円
(新規) 児童・生徒の情報活用能力の育成の ためのICT環境の充実	1559万円

●安心のまちづくり

(拡大) まちなかの浸水対策	3065万円
(拡大) 農業用ため池の防災減災事業	3450万円
(新規) 防災関係機関及び地域住民が一体と なった舞鶴総合防災訓練の実施	135万円

●活力あるまちづくり

(新規) 赤れんが周辺等まちづくり事業	2億9908万円
(新規) 赤れんが周辺等まちづくり事業 民間活力導入検討	1648万円
(拡大) 国指定重要文化財赤れんが倉庫 施設整備の推進	1579万円
(新規) 大河ドラマ活用まちなか回遊事業	850万円
(新規) 細川幽斎公ゆかりの田辺城趾周辺 整備等	6300万円

特別会計予算

会計区分	31年度	30年度	伸び率
国民健康保険事業会計	81億4445万円	82億4351万円	-1.2%
貯木事業会計	103万円	103万円	0.0%
駐車場事業会計	5156万円	5097万円	1.2%
介護保険事業会計	82億1460万円	80億6767万円	1.8%
保険事業勘定	82億866万円	80億6199万円	1.8%
介護サービス事業勘定	594万円	568万円	4.6%
後期高齢者医療事業会計	12億8499万円	12億2894万円	4.6%
公営企業会計	118億3116万円	115億4277万円	2.5%
水道事業会計	35億4180万円	34億8690万円	1.6%
下水道事業会計	71億15万円	70億2190万円	1.1%
病院事業会計	11億8921万円	10億3397万円	15.0%
合計	295億2779万円	291億3489万円	1.3%

第7次舞鶴市総合計画に係る審査等

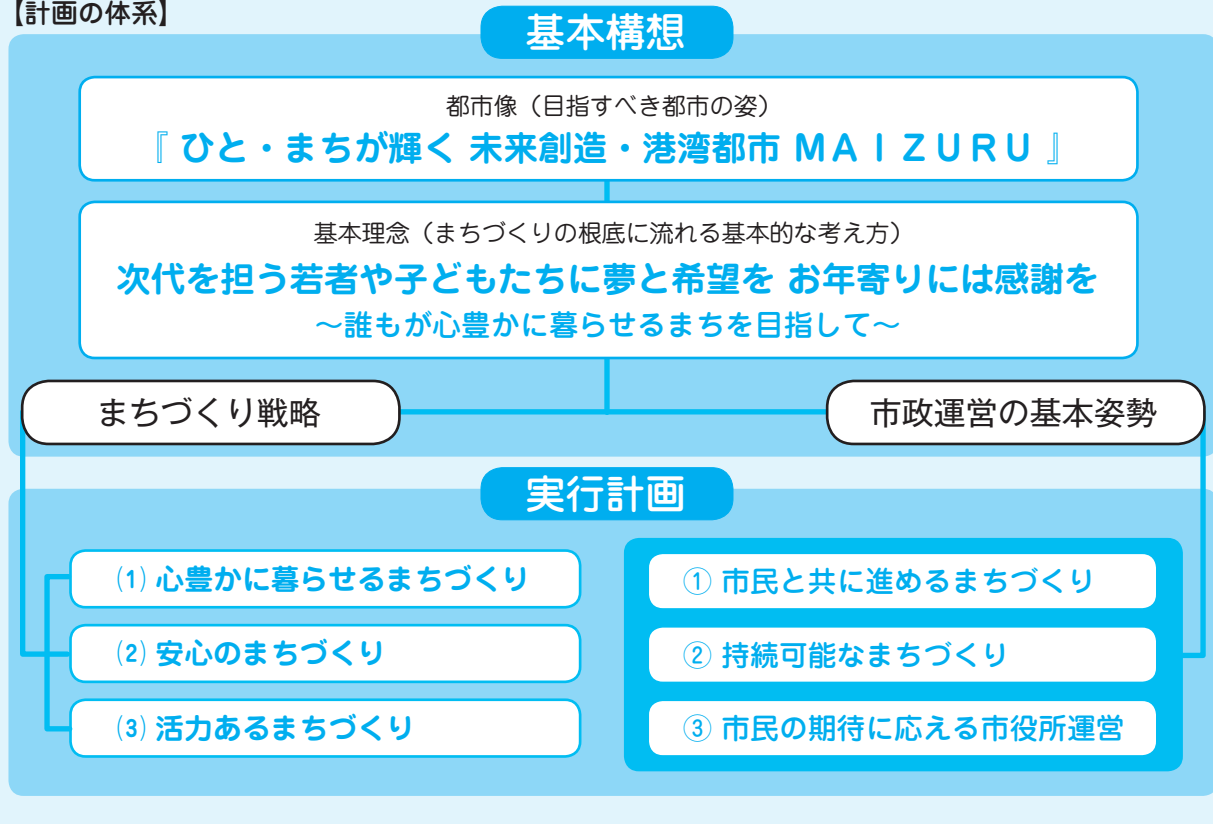
○総合計画の概要

2019年度から2026年度までの第7次舞鶴市総合計画では、新たに「ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU」を都市像に掲げ、「次代を担う若者や子どもたちに夢と希望を お年寄りには感謝を」との基本理念のもと、まちづくり戦略と市政運営の基本姿勢が基本構想として示されています。

また、今回の総合計画には、「各主体に寄せる期待」として、市民・事業者・行政それぞれの役割が定められています。

基本構想に基づく前期4年間の実行計画では、人口10万人に匹敵するまちのにぎわいをもつ「経済人口10万人」を目標数値に掲げ、「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」の方向性で、目標に向けて取り組むべき施策が掲げられています。

【計画の体系】



第7次舞鶴市総合計画の素案について調査

平成30年12月、第7次舞鶴市総合計画について調査を行うため、「第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会」（議員全員で構成）を設置しました。

同特別委員会では、3つの分科会を設置して総合計画の基本構想と前期実行計画の素案について詳細に調査し、基本構想案に対して4件、前期実行計画案に対して19件の意見を取りまとめ、議会の意見として議長から市長へ提出しました。

第7次舞鶴市総合計画に係る議案を審査

平成31年2月20日の本会議において、市長から、第7次舞鶴市総合計画に係る議案「基本構想及び基本構想を実現するための実行計画の策定について」が提案され、この計画については、市民アン

ケートの実施や各種団体から参画いただいた市民ワークショップなどを通じ、多くの市民団体のご意見を踏まえ、総合計画審議会（学識経験者や各界各層で構成）において、熱心に議論され、まとめられた答申をいただく中で、2か年にわたる作業をもとに作成したものであることなどの説明がありました。

舞鶴市議会では、この議案を審査するため、「第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会」（議員全員で構成）を設置し、先の基本構想と前期実行計画の素案に対する意見23件のうち20件を反映させて修正したことを確認した上で、委員から提出された修正案についても協議（修正案は否決）しました。結果、2月27日の本会議では、この議案を賛成多数で可決しました。

平成31年2月27日の本会議において、第7次舞鶴市総合計画に係る議案に対して各会派が討論をしました。

討論



住民参加のまちづくりを

反対する。基本構想で市是の「平和港湾産業都市」の取り扱いが非常に軽んじられており、平和の記述が非常に少ない。もっと太い柱として位置付けるべきだ。

若狭原発群の隣接地だからこそ、原子力発電所に対する基本姿

市民の暮らし応援で 平和・原発・医療を

日本共産党議員団
小杉悦子



勢、原発事故から市民の命と安全を守る市の姿勢を明確にすべきだ。

「地域完結型の医療供給体制」の言葉は消え、市民の切実な医療充実の思いを正面から受け止めず、「北部連携」でごまかしているとしか思えない。市の公的責任を果たし地域医療を再生するまちづくりをすべきだ。

説明責任と市民合意重視で

赤れんが再整備や山陰新幹線誘致活動など、呼び込み型の大型開発を優先する「舞鶴版コンパクトシティ」の推進、「受益者負担の適正化」などは、説明責任や市民の合意形成が欠かせない。市民の暮らし、なりわいの実態に合った計画にすべきだ。「住民福祉の増進」を基本とし、地方自治の役割を真に発揮するまちづくりを求める。

経済人口10万人の まち舞鶴を実現

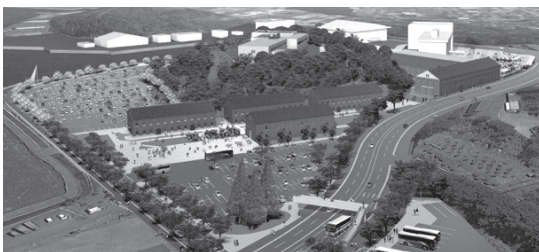
公明党議員団
松田弘幸



賛成する。舞鶴市総合計画(案)は、審議会、議会、またパブリック・コメントによる市民の意見も取り入れ、策定を進めていただいた。人口減少、少子高齢化が進む中、経済人口10万人を維持する上で観光産業は重要だ。観光需要を取り込むことで、地域の活性化、雇用機会の増大等の効果を期待する。交流人口1人当たりの消費額は、約6千円の計画である。

助け合いが地域を元気に

子どもからお年寄りまで、全ての市民が尊重され、住み続けたい



観光拠点赤れんが周辺計画

と思えるまちづくりや地域づくりを目指されている。幸せ・充実感、人と人のつながりや助け合いにより感じられるものであり、この実行計画に盛り込まれている。将来の財政運営では、新たな指標の実質公債費比率や将来負担比率に加え、従来からの経常収支比率目標と建設地方債残高目標も同様に記載され、市民の皆さんにも理解されやすい。この計画が確実に実行されるよう、尽力を願う。

市民と協働の 総合計画に大きな期待

新政クラブ議員団
眞下降史



第7次舞鶴市総合計画(案)に賛成する。全国的な課題として、舞鶴市も直面している人口減少や少子高齢化が進む中、今後の8年間を見通した方向性と実行計画が、明確に示された総合計画であると理解している。本市がもともと有する豊かな自然・歴史・文化を生かし、特色ある教育や充実した子育て環境をもとに「魅力あるまち」として、選ばれるまちづくりが今後推進される。「心豊かに暮らせるまちづくり」では、



「自然と心」豊かな舞鶴を目指し

市民全体が参画し共に助け合う地域コミュニティの醸成を図り、「安心のまちづくり」では、自助・共助・公助の役割対応を強化し、「活力あるまちづくり」では、市内企業がしつかりと頑張り、利益が出るように支援を推進される。こうした市民と協働した自治体運営を目指すためにも、市民理解を得る説明を丁寧に行うことを要望し、舞鶴市が全員野球で取り組む決意を大いに感じる総合計画に心から期待する。

平成31年2月27日の本会議において、第7次舞鶴市総合計画に係る議案に対して各党派が討論をしました。

討論

まちづくりの最上位計画として認定

創政クラブ議員団
肝付 隆 治



第7次舞鶴市総合計画(案)に賛成する。舞鶴市の総合計画は、行政計画ではなく地域再生を目的としたまちづくり計画の最上位計画として位置付けられている。その作成過程において、市民アンケート、市民ワークショップ、総合計画審議会による諮問答申など多くの市民の参画を経て作成され、さらにはパブリック・コメントにより、一般市民からの意見を反映したものである。また、第7次舞鶴市総合計画に関する調査特別委員会が協議した修正等の意見に対し

ては、一部原案のままとされたものもあるが、行政を担う立場としての立案事項として許容できるものであり、総じて本計画は、まちづくり計画として十分に審議され、まちづくりの最上位計画として適切であると認められる。

市民主体のまちづくりを

行政の役割として、まちづくりの主体は市民であり、まちづくり

への市民の参画と行政との協働がいかに重要であるかについて、広く市民の理解を得て、市民主体によるまちづくりを推進することが重要である。そのためには、行政が具体的施策を推進する際に市民に期待する役割をその都度明確に示し、市民が自らの手によるまちづくりに積極的に取り組めるような体制を整える必要がある。

手話通訳者・要約筆記者を配置します

市議会の本会議や委員会等はどなたでも傍聴することができます。

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴する場合は事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時まで「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入のうえ、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合等により、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



第7次舞鶴市総合計画に係る採決結果 (平成 31 年 3 月 定例会)

議案名：基本構想及び基本構想を実現するための実行計画の策定について 【賛否】 ○…賛成、×…反対

出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西	上野	鯛畑	田井	仲井	野瀬	眞下	水嶋	伊藤	尾関	川口	肝付	高橋	谷川	山本	上羽	小谷	杉島	松田	石束	伊田	小杉	小西	鴨田	田村	西村	議決をした日	
26	25	21	4	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	2月27日	
						新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無会派	無会派	無会派	

【党派】 新政……新政クラブ議員団、創政……創政クラブ議員団、公明……公明党議員団、共産……日本共産党議員団、無会派……会派に所属しない議員

☆議長は採決に加わりません。 ☆舞鶴市議会の議員定数は 26 人です。



平成31年3月8日、本会議を開き、4人の議員が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

平成31年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

平成31年3月8日

順番	会派名及び氏名	質問事項
1	創政クラブ議員団 尾関 善之	1 市政運営について
		2 平成31年度の市政運営について
		3 不登校対策について
2	日本共産党議員団 伊田 悦子	1 今後の市政運営について
		2 消費増税が市民生活にもたらす影響について
		3 地域医療について
		4 来年度の重点事項について
		5 自衛官募集に関わる舞鶴市の対応について
3	新政クラブ議員団 上野 修身	1 舞鶴市の財政について
		2 第7次舞鶴市総合計画に基づく今後の市政運営について
4	公明党議員団 松田 弘幸	1 舞鶴の観光について
		2 まちづくりについて

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。
※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁求める方式のみとなっています。



昨年7月豪雨の浸水の様子

質問 新年度予算に東西市街地浸水対策事業費として1億8700万円計上して自然災害の軽減に向け積極的な予算となっている。今後の西市街地、東市街地の治水・浸水対策の取り組みなどについて問う。

答弁 高野川、伊佐津川、東市街地での度重なる浸水被害については、スピード感を持

防災・減災対策の強化の取り組み



創政クラブ議員団
尾関 善之

った対応が強く求められており、一日も早い事業の完成に向け鋭意取り組む。

大河ドラマの決定を受け

質問 放映を契機に、細川幽斎公が築いた田辺城の歴史や城下町など、観光地として魅力ある資源を引き出し、さらなる観光誘客につなげ、併せて田辺籠城・古今伝授のエピソードを、舞鶴の誇る歴史として全国に発信する千載一遇のチャンスと考えるがいかがか。

答弁 西駅に田辺籠城・古今伝授を紹介する展示、ゆかりのス波特マップの作製、関連お土産商品の開発促進など大河ドラマの放送を追い風として西地区の活性化と地域消費の拡大につなげる。

平成31年3月8日、本会議を開き、4人の議員が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

政策の優先は 8万市民のまず暮らし



日本共産党議員団
伊田悦子

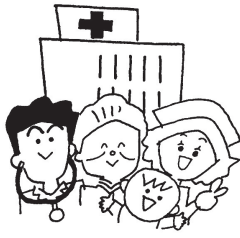
質問 31年度重点事項の①「原子力防災の推進」では、市民の命を守る責任を果たす上で、原発再稼働容認発言を取り消し、希望する市民への安定ヨウ素剤の事前配布が必要では。いかがか。②「赤れんが周辺等まちづくり事業」に今後30億円の税金を投入。防衛省の補助金とはいえ、多額の税金投入に間違いはない。観光より優先すべきは暮らしの応援では。いかがか。

答弁 ①PAZを有する本市に十分な説明と理解を得ることなく再稼働は容認し難いが、ただやめろというのでは討論の場にも立っていない。国の指針等に基づいた対応が基本で、事前配布は考えていない。②将来のまちの活力を生み出すために必要な整備だ。

医療の充実が市民の願い

質問 市民は医療は後退していると実感している。その認識は。

答弁 医師は減少。市内で対応できない診療科もある。全ての医療提供を地域で目指すのでなく、府北部で医療が完結する医療提供体制と考えている。



安心の医療提供

舞鶴市の財政状況と 将来見通しは



新政クラブ議員団
上野修身

質問 舞鶴市においては、生活インフラは一定整備され便利で豊かな生活を享受している。そのような中、現在最も大きな課題の一つが少子高齢化・人口減少問題と考える。少子化・人口減少による労働力の低下、経済成長の減速、税収の減少や高齢化による医療費・介護費、年金など社会保障費の増大に加えて、近年多発する自然災害等は、財政に大きな影響を及ぼすと考える。本市の財政状況と将来見通しを問う。

答弁 人口減少と少子高齢化が進み市税収入は毎年減少傾向にある。歳出は医療、介護等義務的、経常的経費の増加に加え、道路・橋など社会基盤や公共施設等の長寿化対策、災害被害に対応した防災・減災対策など、財政は厳しさを増している。財政指標として財政の自由度を示す経常収支比率は、97・9%、市債残高や職員の退職手当に係る経費など将来的な負担を示す将来負担比率は、113%で健全な水準が保たれている。

質問 地区住民が地域の課題について意見交換を行い、中学校区



多発する自然災害への対応

観光消費額を増やし 舞鶴の活性化を



公明党議員団
松田弘幸

質問 少子高齢化・人口減少を迎える中、観光は地方創生、成長戦略の切り札である。本市でも、外国人観光客の姿を目にする。市内でお金を使ってもらう仕組みづくりが必要である。例えば、民家を使った民泊や外国人に人気のある体験メニューづくりなどが有効であると考える。今後の外国人観光客に対する取り組みを問う。

答弁 まずは、新たな組織体制の下、公民館が持つ地域づくりの拠点機能を強化し、地域住民と共に、住民自らが考え行動できるコミュニティづくりに努める。

質問 地区住民が地域の課題について意見交換を行い、中学校区



人気スポットの吉原入江

平成31年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

平成31年3月8日、11日、12日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	仲井 玲子	1 地域コミュニティ放送局「FMまいづる」について	
2	2分割	小西 洋一	1 災害に強いまちづくりについて	2 若者対策について
			3 高齢者外出支援事業について	4 市職員給与の減額について
3	一括	高橋 秀策	1 市内で国が発注する公共工事について	2 赤れんが周辺等まちづくり事業について
			3 新幹線の誘致について	4 教育について
4	一括	小谷 繁雄	1 西地区における総合的な治水対策について	2 学校におけるICT環境整備について
5	一問一答	鴨田 秋津	1 2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」について	
6	一括	田畑 篤子	1 介護人材の養成と確保について	2 就学前の子どもへの子育て支援について
7	一括	石束 悦子	1 若者の農業・漁業への定着について	2 公共施設の使用料について
			3 不燃ごみの収集について	4 投票所の課題について
			5 固定資産税について	
8	一問一答	肝付 隆治	1 10年後の舞鶴市を見据えたまちづくりについて	
			2 京都舞鶴港の港湾振興について	
9	一括	杉島 久敏	1 地区防災計画について	2 観光危機管理の充実について
			3 市内における観光地(公衆)トイレの環境整備について	
10	一括	田村 優樹	1 旧市民病院跡地利用について	2 舞鶴球場の整備について
11	一括	野瀬 貴則	1 西舞鶴に建設中の複合医療介護施設について	
			2 平成31年度のICT実行計画について	
12	一問一答	小杉 悦子	1 国民健康保険について	2 財政運営について
			3 幼児教育・保育について	
13	一括	川口 孝文	1 受益者負担適正化について	2 安岡地区水路の排水能力について
			3 消防団について	
14	一括	西村 正之	1 タッチレス救急医療現場映像伝送システムの導入について	
			2 自衛官募集のあり方について	3 防衛補助の実績について
			4 生活保護世帯について	
			5 府道小倉西舞鶴線白鳥トンネル区間の4車線化について	
15	一括	今西 克己	1 2025年大阪国際博覧会と本市の関わりについて	
			2 旧岡田上小学校の転活用について	

※一括……質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※2分割……質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答……質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



平成31年3月8日、11日、12日に本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

「FMまいづる」に対する市の認識は



新政クラブ議員団
仲井 玲子

質問 「FMまいづる」は開局してから3年が経ち、地域情報の発信、連携づくりなどまちの活性化に貢献し、災害時には自主的に割り込み放送を発信することで、地域にとつて安心の一助となつていく。多くの市民の共通の情報手段として、まちのまとまりをつくり、市民が主役のまちづくりへと機運を高めることも期待できる。災害時には他のメディアよりも有用性が高いコミニティFM局の地域における役割について市の考え



防災フェスタでの災害放送訓練

を問う。また、「広報広聴の充実」や「戦略的な情報発信」を進める上で、「FMまいづる」をどのように活用されているのか問う。
答弁 災害時には避難勧告などの防災情報、避難所の開設状況や生活再建に役立つ支援情報などを発信していただき、市としても「FMまいづる」は重要な情報伝達手段であると認識している。地域活性化にも期待しており、難聴地域の解消に向けて取り組みを進めている。

公共事業は「防災・減災」を最優先に



日本共産党議員団
小西洋 一

質問 5年間で4度の床上・床下浸水等、相次ぐ水害で市民の中には「心が折れる」という悲痛な声もある。市民の命と財産を守るために従来の延長線でない抜本的な対策が求められる。観光、開発優先から「防災・減災優先」の公共事業に転換すべきと思うが、市の考えを問う。
答弁 防災・減災機能の充実・強化、対策の強化を図り、災害に強い体制づくりの下で、安心のまちづくりに努めていく。



未来を担う若者たち

若者の奨学金返還に支援を
質問 舞鶴出身の多くの若者が大学を卒業し、奨学金を返還しながら大都市圏で働いている。人口減少対策の一つとして、舞鶴の若者の「Uターン」や「Iターン」を促すためにも市独自の「奨学金返還サポート制度」を創設したらどうか、市の考えを問う。
答弁 平成29年度から京都府において、府内で就職した新卒者等に企業と連携して奨学金返還制度が設けられていることから、市独自の制度を新設する考えはない。

建設業界の育成・強化を



創政クラブ議員団
高橋 秀策

質問 建設業界は、災害対応や早朝からの除雪作業、また、有事の際に備えても健全に維持していかねばならない。建設業者の育成という観点からも、国発注工事への参加機会の拡大が必要であるがその考えを問う。
答弁 総合評価の技術評価点に施工実績を加点しないことなど、実績の少ない業者の受注機会を拡大する「企業チャレンジ型」総合評価落札方式を試行してもらっている。国発注工事への参加機会の拡大は、市長を先頭にあらゆる機会を通じて要望していく。

教職員の働き方改革

質問 教職員の皆さんが読書や個人の趣味、スポーツ、旅行、異業種の人たちとの交流などを通じて、幅広い視野を持ち、大きな器をもって児童・生徒と関わっていただきたい。働き方改革の取り組みを問う。

答弁 教員の意識啓発や業務負担の軽減、学校事務の改善等、実現可能な事柄から確実に積み重ねていくことで働き方改革をさらに前へ進めていく。



工事進む西舞鶴道路

平成31年3月8日、11日、12日に本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

高野川流域の
浸水被害の早期対策を



公明党議員団
小谷 繁雄

質問 高野川流域の平成30年度の河川整備では、土質調査・詳細設計を、大手川の雨水ポンプ場設置では、測量調査や詳細設計・用地測量を実施しているが、今後の取り組みを問う。また、左岸側の浸水対策を問う。

答弁 来年度の高野川の整備事業では用地取得や護岸工事を、大手川の雨水ポンプ場は建設工事に着手する。左岸側は、排水ポンプ場の実施設計に着手する。今後とも、京都府と連携を密に全力で事業の推進に努める。

川



浸水対策が進捗する伊佐津川の護岸工事

伊佐津川の早期浸水対策を

質問 伊佐津川の浸水対策では護岸工事が進んでいる。しかし、出水期を間近に迎え、今後の伊佐津川右岸の河川掘削、左岸の河川整備について問う。

答弁 今年度は、大和橋の上下流右岸160メートル区間の河道掘削を進め、来年度からは、大和橋から高砂橋までの左岸において護岸整備および河道掘削が実施される見込みである。伊佐津川と高野川両河川の早急な浸水軽減に向け、事業の早期完成に努める。

「麒麟がくる」に係る
整備計画を問う



会派に所属しない議員
鴨田 秋津

質問 2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機として、亀岡市や福知山市では大河ドラマ館が整備される予定である。本市の観光施設や展示施設などの整備計画を問う。

答弁 西駅交流センターに光秀・幽斎らゆかりの展示コーナーを設けるほか、田辺城資料館、郷土資料館、さらには西地区の歴史スポットを結び、多くの来訪者にまちなかを巡ってもらえるよう考えている。



観光拠点となる田辺城址

歴史学習の充実を

質問 子どもたちがふるさと舞鶴への興味・関心を抱くよう、地元の歴史を伝える教育が必要になると考える。本市の義務教育において、大河ドラマ放映を契機とした舞鶴の歴史学習を充実させる考えはないか見解を問う。

答弁 以前から小・中学校の社会科の歴史学習では、細川幽斎に触れるなど舞鶴に関連した学習を行ってきた。教育委員会としても、大河ドラマ放映を機に、舞鶴の歴史学習に生かしたいと考える。

通園できない子ども
への保育支援を問う



新政クラブ議員団
田畑 篤子

質問 「医療的ケア児」を含む幼稚園・保育園に通園できない子どもは、自宅や入所施設などで日中を過ごすことが主である。保育は子どもの成長発達への期待や、持てる力の発揮と拡大につながる。特に「医療的ケア児」や障害を持つ子どもにも将来への大きな希望となる。

質問 「医療的ケア児」を含む幼稚園・保育園に通園できない子どもは、自宅や入所施設などで日中を過ごすことが主である。保育は子どもの成長発達への期待や、持てる力の発揮と拡大につながる。特に「医療的ケア児」や障害を持つ子どもにも将来への大きな希望となる。

国や京都府において、地域生活を支援する取り組みが進められているが、訪問型の保育を提供する居宅訪問型保育事業の、

市の取り組み状況を問う。

答弁 平成28年に児童福祉法で、地方公共団体は医療的ケア児が医療・福祉などの支援を受けられるよう、必要な措置を講ずることが明記された。平成30年には医療的ケア児コ—デイネーター養成研修が実施された。就学前の医療的ケアへの活用として、地域型保育事業として集団保育でなく、居宅訪問型保育事業がある。医療的ケア児受け入れへの、保育士の養成を含めた特定行為の行える人材育成と確保を検討していく。



子育て支援の充実

平成31年3月8日、11日、12日に本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

若者が働きがいのある農・漁業を



日本共産党議員団
石束悦子

質問 周辺部から子ども姿が見えず、入学児童も減少している。また都会へ出て舞鶴へ帰ってくる若者も少ない。第一次産業の農業や漁業に従事する若者の担い手づくりや移住者対策が必要ではないか。

答弁 京都府と連携し、田舎の体験事業に取り組み、加佐地区に過去5年間で4組の移住者があった。また、漁業担い手支援事業では、海の民学舎修了生3人が舞鶴で漁業に従事された。漁船購入費など初期投資の経費に補助をしており、今後

投票に行きやすい改善策を

質問 選挙ごとに投票率が下がっている。投票所へ行きやすいように、投票所内の土足での入場やバスの運行、期日前投票の高校での実施などを検討してはどうか。

答弁 投票所への対応は、施設の状況や経費などの面で課題が多い。期日前投票所の高校への設置については、市長選挙での高専などでの実施の効果や実施体制をよく検証した上で判断したい。



若者の後継者を

10年後の舞鶴市を見据えたまちづくりを



創政クラブ議員団
肝付隆治

質問 舞鶴市はこの10年で、赤れんが周辺等まちづくり事業、西舞鶴道路や旧市民病院跡地の整備など大きな事業やインフラ整備が完了する見通しであり、10年後を見据えたまちづくりの具体的方針を将来予想図など見える化した形で市民に示す時期ではないかと思うが、市の見解を問う。

答弁 第7次総合計画の中で、目指すべき将来のまちづくりを掲げており、具現化する段階で市民の皆さんと協力しながら見える化を図り、市民の積極的な参画を図っていく。

市街地の整備方針は

質問 赤れんが周辺等まちづくり基本計画によると、市街地等とのまちづくりと一体となったエリアマネジメントを推進していくとあるがどのように構築していくのか問う。

答弁 来訪された方々が赤れんがパークを拠点としてまちなかへと波及していくことを目指しており、エリアマネジメントとして地域の住民や事業者と目標やコンセプトを共有し地域資源を生かして活性化に結び付ける。



赤れんがパーク周辺完成イメージ

観光地トイレの環境整備と位置表示を



公明党議員団
杉島久敏

質問 増加する外国人観光客の満足度を左右する重要な要素の一つが、快適なトイレ環境整備とされている。公衆トイレに対する好印象が、そのまま観光地のイメージアップとなり、長時間滞在の安心感につながる結果となっている。訪日観光客のリピート率を上げるため、観光地トイレの環境整備や位置表示を確認しやすくする必要がありと考える。本市では、どのように対応されているのか。

答弁 観光客の皆さんが、快適に

観光地を巡っていただく上で、観光地に快適なトイレが設置されていることは必要な環境整備と捉えている。本市では、平成27年度と29年度にトイレの洋式化における支援および整備を行った。今後、外国人観光客をはじめ、観光客にとって快適なトイレ整備について、計画的に推進を図っていく。また、観光マップや案内看板、ホームページなどを活用し、観光地等におけるトイレの位置表示を行っていく。



舞鶴公園内のトイレ施設

平成31年3月8日、11日、12日に本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

市民アンケート調査
の必要性を問う



会派に所属しない議員
田村 優樹

質問 旧市民病院の跡地利用計画については、あり方懇話会からの「提言書」に基づくと「市民病院跡地利用方針」からも明らかである。市長の公式発言でも、民間活力の導入や再生可能エネルギー等は、アンケートやさまざまな委員会で結論が出たと言われている。なぜ、あらためて前回同様の市民アンケート調査を実施する必要があるのかを問う。

答弁 再生可能エネルギーの導入を推進するに当たり、アンケート調査でエ

ネルギーに関する意識調査と啓発を行い、施設整備に生かすためである。

市民ニーズの反映はいかに

質問 野球場でプレーをする選手や関係者は、けがをする心配のないグラウンド整備を願っている。このニーズを反映させ、グラウンド環境の本格的な整備を実施することは、市民の健康増進に寄与すると考えるがいかに。

答弁 舞鶴球場は、今年度、車いすでの利用が容易となる改修を行った。今後も、市民ニーズの把握に努め、改修計画を検討する。



けがの心配がないグラウンド整備を願う

西舞鶴に建設中の
透析施設



新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問 現在、西舞鶴駅周辺に建設中の、人工透析施設を含んだ複合医療介護施設の完成を、西地区の皆さんは心待ちにしている。完成される規模と開設時期や、透析患者の増加を防ぐための糖尿病重症化予防事業について、どのように取り組まれるのか、市としてどのように把握されているか問う。

答弁 社会医療法人社団正峰会が計画・施工されており、2020年春の開設と聞いている。施設概要として

は20床の人工透析クリニック、サービス付き高齢者向け住宅の開設や、通所介護等介護サービス事業の実施を計画されている。糖尿病重症化予防事業については、平成30年度から舞鶴医師会と連携して取り組みを始めており、特定健診を受診された方に対し、医師が必要と判断した場合、市の保健師や管理栄養士が訪問などにより保健指導を実施している。また、予防の一環として薬局でHbA1cの簡易測定を実施していく。



建設工事中の複合医療介護施設

保険料の引き下げで
安心な国保の制度に



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 「保険料を払いたくても払えない」「病気になるっても患者になれない」国保の抱えている問題は深刻だ。広域化され、2年目の予算案は、基金を取り崩し保険料の据え置きとしている。広域化のメリットはどこに表れているのか。

答弁 府全体の医療費の伸びから、本市の負担金は伸びているが、今後大きな変動が少なくなっていくものと考えている。

質問 この間国が補助金を削り、京都府は法定外繰り入れもせず

に、医療費の負担だけを求めてくること自体が問題と考える。国保料を下げた病気に加っても安心して医療機関に受診できる保険制度にするため、国と京都府に、市として財政支援を求めることが必要と考えるがどうか。

答弁 今後も医療費の増加傾向が続く中、公費の拡充は不可欠なことから引き続き要望していく。保険制度の原理原則から、制度外の支援を府に求めるのではなく、府と連携を強めていく。



国保料の引き下げで安心の医療を

平成31年3月8日、11日、12日に本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

公共施設使用料の
減免措置の見解を問う



創政クラブ議員団
川口孝文

質問 公共施設使用料・手数料の見直しが実施され、4月1日から新料金となる。「減額・免除の考え方」も見直され、自治会など公共的団体が減免対象団体となった。減免規定では、「団体の構成員の技術向上など、団体活動による利益の範囲が個人や参加者のみに限定される活動は減免の対象外」と記されている。例えば、消防団員が救急救命講習を実施する場合など、個人の技術向上が広く公共の利益に直結する場合は、



公共施設新料金制度に移行

減免の対象としてよいのではないかと考えるが、改めて見解を問う。

答弁 新年度から減免制度を見直し、受益者負担の原則に基づき、政策的に必要な場合の特別措置として、公共的団体などが「地域社会の維持又は形成に係る活動」を行うために公共施設を利用する場合に限り減免を行うこととした。消防団が実施する救急救命講習は、消防団の組織としての本務であり、減免の対象となる。

舞鶴市における自衛官
募集のあり方は



会派に所属しない議員
西村正之

質問 自衛官の現員数は、30年3月現在で22万7千人と聞いている。定数24万7千人に対し、約2万人もの欠員が慢性化している現状であることから、人材確保が最も重要な課題であると伺っている。このような状況の下、自衛隊法第97条において、市町村長は政令の定めるところにより、自衛官の募集に関する事務の一部を行うこととされており、



「自衛官募集」の懸垂幕(京都銀行)

地方創生やU・J・Iターンの推進の観点からも、これまで以上に積極的な活動が重要になってくると思われる。本市の実績および今後の取り組みについて問う。

答弁 本市ではこれまでから、広報紙による自衛官募集記事の掲載をはじめ、市庁舎での自衛官募集ポスターの掲示、チラシ等の配架、懸垂幕の設置等を行っており、今後においても海上自衛隊舞鶴地方総監部との総合支援協定に基づき自衛官募集に関し、さらに連携・協力して取り組んでいきたいと考えている。

2025年大阪万博と
市の関わりを問う



新政クラブ議員団
今西克己

質問 昨年11月、2025年国際博覧会の開催国を決める、博覧会国際事務局総会がパリで開かれ大阪が選ばれた。経済、産業、観光等のイノベーションやインバウンドをはじめ本市の創生につながるものが重要である。本市としてどのように取り組むのか問う。



転活用される旧岡田上小学校

者を本市に呼び込めるよう取り組む。

問 開校の施設の転活用を問う

質問 旧岡田上小学校において、(株)YASAIが人工光型植物工場を開設する。地元住民の雇用や中期的な生産規模や本市の支援を問う。

答弁 開業当初の雇用は正社員1名、パート5名程度の体制を予定、将来的には1日2千〜3千株の生産量拡大が予定されている。本市にとっても貴重な財産であり、事業者、地域、市が連携し継続的に支援する。

平成31年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討 論

第7次総合計画に則した的確な予算

新政クラブ議員団
眞下隆史



上程された全議案に対し賛成する。

平成31年度一般会計予算は、財政状況として歳入が減少し急激な増額見通しが困難な中、各担当部署が枠配分方式を活用して自主性と創意工夫を促し、将来世代に負担を残さぬよう、健全で持続可能な予算であり高く評価する。事業面では、子育て環境日本一を目指し、舞鶴市特有の乳幼児教育ビジョンに基づき、公立認定こども園内に設置する「乳幼児教育センター

」を拠点として、さらなる子育て環境の充実と乳幼児期の豊かな成長への支援が強化される。消防本部内に「消防団担当課長」を設置し、常備消防と地域消防との連携強化を深め、災害時の自助・共助・公助の役割対応が強化され、災害に強いまちづくりが推進される。森林経営管理推進経費は、国から譲与される森林環境譲与税を活用し、森林の維持・資源の活用・木質バイオマス発電所との連携による産業の拡大に期待する。



公立認定こども園

苦しい市民生活に心寄せた施策優先を

日本共産党議員団
伊田悦子



12議案は反対し、25議案は賛成する。

一般会計に反対の理由。①自衛隊への若者の名簿提供は住民基本台帳法上は閲覧。②赤れんがパーク整備は、防衛省の補助金を受けた整備といっても市民の税金。暮らしの応援を優先すべき。政策の優先順位が間違っている。③市の負担や在来線の行方等が不明なままの新幹線誘致は無駄。また、4月からの使用料・手数料値上げによる負担増あり。

よる市民負担増の3会計反対。それに関わる4件の条例改正に反対。国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療会計は、市民生活を考え負担軽減を求め反対。30年度補正予算の原動力災害対策施設緊急整備事業で、1地区に放射線防護対策施設建設実施。しかし、PAZとPAZに準じた地域全てに必要。この事業が必要ないよう、再稼働容認姿勢を改め、希望する市民へ安定ヨウ素剤事前配布を求めこの議案に賛成する。



市民が元気なまちづくり

今後の舞鶴を見据えた予算編成

創政クラブ議員団
山本治兵衛



全議案に対して賛成する。

今定例会に上程された予算案は第7次総合計画を推進させるために工夫を凝らした予算であり高く評価する。予算編成においては、舞鶴市の今後についての見通しと編成方針を示し、予算を計上された。今後は市税収入が減少し、基金からの繰り入れが不可欠となる中、国や府からの交付金や補助金を積極的に活用することやにぎわいの創出、地域経済の活性化などによる財源の拡大を

目的とする施策が必要となるが、3つのまちづくり戦略に基づいた多方面にわたる市民サービスを盛り込んだ予算となった。中でも一大交流拠点を整備する「赤れんがパーク」を中心とした地方創生拠点整備は防衛省の交付金を活用して、市の負担が軽減されている。浸水対策事業では、住民の願いを市長を先頭に国や府に要望された結果、早期完成の一步となった。他にも多くの事業が盛り込まれており、この予算を高く評価する。



赤れんがパークは10年後を見据えた事業

討論 政務活動費支出の概要

平成31年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

さらなる福祉サービスの充実を

公明党議員団
小谷 繁雄



上程された全議案に賛成し討論する。
平成31年度一般会計予算は、前年度に比べ3億7447万円、1・1%増と、健全な財政運営の予算編成となり、そのための財源確保を評価する。本市の目指す子育て環境日本一のまちづくりには、乳幼児教育ビジョンに基づいた、良好な環境での幼児教育のさらなる充実が必要である。国において幼児教育の無償化が進むことは、子どもの貧困が大きな社会問題である現在、幼児教育の



乳幼児教育の拠点「舞鶴市認定こども園」

負担軽減につながる。また、中学生の通院に係る医療費において、負担軽減となる施策を評価する。行政サービスにおける、ICTの活用は最重要課題であり、行政手続の効率化を図る取り組みに期待する。次期最終処分場整備事業は、市民生活に必要な施設であり、より一層のごみ減量化に向けた対策を期待する。今後とも、市民ニーズに応える積極的な取り組みで、さらなる福祉サービスの充実をお願いし、賛成討論とする。

病院事業会計には反対

会派に所属しない議員
田村 優樹



今定例会に提案された第5号議案、平成31年度舞鶴市病院事業会計予算に対し反対の立場で討論する。私はこれまで、舞鶴市病院事業会計予算には無理があると、一貫して反対している。新市民病院を療養型病院として特化、運営しても、中丹地域医療再生計画の大前提である医師確保、地域医療の充実に寄与するものでなく、運営上の赤字幅を圧縮する根拠が明確でない。さらに、交付税額は、平成33年に普通地



改善が望まれる病院経営

方交付税の経過措置が終了し、通常の稼働病床に基づく算定額となり減額する。市の一般会計も非常に厳しい現状であり、病院経営に対する赤字補填が容易であると理解し難い。市では、市民負担が増加することのない新たな施策が示されていないが、果たして有効的、恒久的に機能するのか疑念であり、採算性の低い医療療養型病院を公営企業で運営することへの理解には、十分な説明と期間を要することから承認できない。

平成30年度の政務活動費の支出内容(概要)をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究等に資するための必要な経費の一部として、議員1人当たり年額26万円が議会会派に対し交付されますが、30年度は改選のため12月4日までの分として1人当たり170,709円が交付されました。なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。

各会派政務活動費 収支一覧表 (平成30年4月1日～平成30年12月4日分)

(単位:円)

会派名等	収 入		支 出								支出合計	差引不用額
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請陳情活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費	事務費		
創政クラブ 議員団	1,365,672	0	793,250	6,000	0	0	11,664	0	0	145,321	956,235	409,437
主な支出の内容: 調査研究費(函館市、木古内町、奥尻町)、資料作成・購入費(新聞購読料)、事務所費(コピー使用料等)など												
新政クラブ 議員団	1,365,672	0	0	0	920,700	0	11,664	0	0	89,858	1,022,222	343,450
主な支出の内容: 広報・広聴費(広報紙印刷費、新聞折込料)、資料作成・購入費(新聞購読料)、事務所費(コピー使用料等)												
公明党 議員団	682,836	0	223,460	0	0	0	0	0	0	124,971	348,431	334,405
主な支出の内容: 調査研究費(船橋市、調布市、上田市)、事務所費(複合機プリンター、コピー使用料等)												
日本共産党 議員団	682,836	0	0	0	242,883	0	24,744	0	0	96,801	364,428	318,408
主な支出の内容: 広報・広聴費(広報紙印刷費、新聞折込料)、資料作成・購入費(新聞購読料)、事務所費(プリンター、コピー使用料等)												
鶴翔会 議員団	512,127	0	356,432	0	0	0	0	0	0	34,172	390,604	121,523
主な支出の内容: 調査研究費(横須賀市、横浜市、稚内市、函館市)、事務所費(コピー使用料等)												
会派に所属しない議員 (西村正之議員)	170,709	0	0	0	0	0	0	0	0	158,926	158,926	11,783
主な支出の内容: 事務所費(コピー使用料等)												

舞鶴市議会ホームページには、政務活動費支出に係る領収書及び視察等報告書を掲載していますのでご覧ください。

本会議において、付託された4常任委員会において審査しました。
 産業建設委員会(付託議案5件)、市民文教委員会(付託議案6件)、
 福祉健康委員会(付託議案6件)、総務消防委員会(付託議案7件)

常任委員会の審査報告

産業建設委員会の主な審査内容

舞鶴市下水道事業減債基金条例の制定

企業債の元利償還に必要な財源を確保し、将来にわたる下水道事業の健全な運営に資することを目的に制定するもの。

Q 積立額は予算に定める額とあるがいくらか？

A 対象となる国庫補助事業に対して、京都府から交付金21万円が上乗せして交付され、来年度は利子が1万円かかるため、それを引いた20万円を積み立てる。

舞鶴市水道事業給水条例の一部改正

舞鶴市下水道使用料条例の一部改正

消費税法等の一部が改正され、平成31年10



月1日から消費税率及び地方消費税率が8%から10%に引き上げられることに伴い改正を行うもの。

福祉健康委員会の主な審査内容

舞鶴市指定地域密着型サービスに関する基準等を定める条例の部の改正

介護保険法等に新たに「共生型サービス」が創設され、また地域密着型サービス等の事業に関する基準を定めたことにより、障害者総合支援法もしくは児童福祉法の指定を受けて

いる障害福祉事業所から「共生型地域密着型通所介護」の指定申請があった場合、市は条例で定める基準を満たしていれば、指定を行うことができることとなるため、「共生型」に関する基準等を追加するもの。

ら、現在、この共生型に関する相談等は受けていない。
舞鶴市国民健康保険事業基金条例の部改正
 国民健康保険事業が府と共同運営となった中で、市の役割として、健康づくりや医療費の適正化、保険料収納の確保を進めることが一層重要となったことから、これらを含めて、国民健康保険事業全般に処分・活用できるように改めるもの。

市民文教委員会の主な審査内容

舞鶴市公民館条例の一部の改正

公民館の効果的な管理を行うため、各公民館の連絡調整を行う業務を中央公民館から地域づくり支援課に移すことに伴い、規定を整備するもの。中央公民館の名称は中公民館となる。

Q 中央公民館が中公民館に変更になること

によって、市民が利用する上で変わることがあるのか。

A 内部の事務の体制の変更なので、これまでと変わらない。
次期最終処分場整備工事に係る請負契約

大波上地内の現在の最終処分場は、2021年度中には計画埋め立て量に達する見込みであるため、

め、国の補助金を活用し、新たな最終処分場の建設工事に着手し、2021年度中の供用開始を目指すもので、「りんかい日産・アトラス・水嶋工業特定建設工事共同企業体代表者りんかい日産建設株式会社」と12億8415万2400円で工事請負契約を締結するもの。

総務消防委員会の主な審査内容

舞鶴市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

国家公務員の給料水準との均衡を図るため、平成31年度において、一般職の職員で職務の級が6級以上である者すなわち、部長、課長、主幹の職にある者の給料の減額措置を実施するもの。

Q この条例改正で影響を受ける人数とその影響額は？
 A 対象者は147人で、影響額の合計は、年額約2200万円。
財産の無償貸付け
 地域活性化に資する転活用を図るため、閉校となった旧岡田小学校の体育館及び校舎の一部を民間事業者に無償で貸し付けるもので、福岡県朝倉市に所

在する株式会社YASAIが、人工光による植物工場を開設されることとなっており、貸付期間は10年間。
 Q 貸し付ける施設の範囲は、今後の事業規模拡大を見越したものか？
 A 事業を開始する時点での必要最小限の規模を貸し付けるものである。

平成31年3月27日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。
 この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
 この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 国民健康保険事業基金条例の一部を改正する条例制定について
- 組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 下水道事業減債基金条例制定について
- 公民館条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市営土地改良事業の特別徴収金に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 行政手続条例の一部を改正する条例制定について
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

仲井 玲子	野瀬 貴則	眞下 隆史	水嶋 一明	伊藤 清美	尾関 善之	川口 孝文	肝付 隆治	高橋 秀策	谷川 眞司	山本 治兵衛	上羽 和幸	小谷 繁雄	杉島 久敏	松田 弘幸	石束 悦子	伊田 悦子	小杉 悦子	小西 洋一	鴨田 秋津	田村 優樹	西村 正之	議決をした日	
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日

※第7次舞鶴市総合計画に係る採決結果は6ページに掲載しております。

○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	同上	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	12月 5日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	12月27日

議案の採決結果

(平成31年3月定例会)
会期:平成31年2月20日～3月27日

全会一致で可決した 予算議案

- 平成31年度貯木事業会計予算
- 平成31年度駐車場事業会計予算
- 平成30年度一般会計補正予算(第7号)
- 平成30年度下水道事業会計補正予算(第3号)
- 平成30年度介護保険事業会計補正予算(第4号)
- 平成30年度一般会計補正予算(第8号)

全会一致で可決・ 同意したその他の議案

- 工事請負契約について(次期最終処分場整備工事)
- 財産の無償貸付けについて
- 教育委員会委員の任命について



賛否が分かれた議案

【議決結果】 可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

議 案 名	議員名簿等 (会派内は五十音順)						今	上	鯛	田
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	西	野	慶	畑
							克己	修身	一	篤子
							新政	新政	新政	新政
平成31年度一般会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
平成31年度水道事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
平成31年度下水道事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
平成31年度病院事業会計予算	26	25	20	5	0	可	○	○	○	○
平成31年度国民健康保険事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
平成31年度介護保険事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
平成31年度後期高齢者医療事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
舞鶴市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
下水道使用料条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
病院事業に係る使用料、手数料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
休日急病診療所条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	○
副市長の選任について	26	25	21	4	0	同	○	○	○	○

【会派】 新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、無会派…会派に所属しない議員
☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

● NO.162 の議案の採決結果に誤りがありました。下線のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

市長提出議案	監査委員の選任について	25	24	21	3	0	可	○	○	○	○
	舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○	○

※「監査委員の選任について」は、全会一致で可決した議案から賛否が分かれた議案に訂正したものです。

予算決算委員会の審査報告、特別委員会の活動報告、6月定例会予定

予算決算委員会の主な審査内容

31年度予算

個人市民税(歳入)

Q 昨年度に比べ減収を見込んでいる理由は？

A 主な要因としては、税制改正による配偶者控除・配偶者特別控除の適用範囲の見直しによる減収や、ふるさと納税による寄附金税額控除額が増加することによる減収を見込んで

いる。

RPA業務効率化実装事業

Q どのような業務にRPAを導入するの

A 市役所内の全ての業務が検討の対象となり得るが、まずは、各課の業務を分析し、効率性や即効性の高いものから導入していきたい。

ふるさと応援推進事業

Q ふるさと納税に対する返礼品の考え方は？

A 市内で生産、製造、加工されたものを返礼品とし、PRにつなげたい。また、総務省の指針に基づき、今後も寄附額の3割以下で取り扱う。

自殺対策事業

Q ゲートキーパーの相談対象並びに養成講座の対象は？

特別委員会の活動報告

原子力防災・安全等特別委員会

3月25日に委員会を開催。高浜発電所1、2号機の安全性向上対策の実施状況について、関西電力(株)から3人の参考人を招致して説明を受け、質疑を行いました。

6月定例会予定

6月

- 3日(月)本会議(開会)
- 7日(金)請願受理締切
- 13日(木)本会議(一般質問)
- 14日(金)本会議(一般質問、質疑)
- 17日(月)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 18日(火)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(月)予算決算委員会
- 27日(木)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。

乳幼児教育充実・強化推進事業

Q 乳幼児教育センターについて問う。

A 舞鶴子ども園に併設する乳幼児教育センターを拠点にして、市全体の乳幼児教育の質の向上に取り組む。保育士等の専門職による、乳幼児教育コーディネーター、発達支援コーディネーター等配置予定。

風しん追加的対策事業

Q 市内におけるワクチンの確保・保管状況は？対象者への周知方法は？市内に風しんの患者はいるのか？

A 風しん用のMRワクチンは、乳幼児等が接種しているものであ

ごみ減量化啓発事業

Q ごみの分別の種類が増えるが、市民の皆さんの認識と定着が必ずと考える。市民向けに案内はされているが、継続的に広報を行う予定はあるか？

A 「ごみ分別ルールブック」や「広報まいる」等でも7種9分

スマート農業支援事業

Q 次世代農業の研究・検討はどんなメニューで行うのか？

A まだ決まっていな

大河ドラマ活用関連事業

Q 大河ドラマ「麒麟がくる」が放送されるに当たって、計画されている事業は？

A 大河ドラマ活用まちなか回遊事業として、細川幽斎公ゆかりの地の紹介やお勧めまち歩きコースを掲載したまち歩き回遊マップを作成し、また、スマホでも閲覧出来るよう考えている。

浸水対策事業

Q 東地区で浸水対策基本計画の策定が計画されているが、今後も市民の意見は反映されるのか？

A 今後も、市民の皆さんのご意見を伺いながら計画していく。